

・授業の準備やレポートに必須
・購入は入学説明会後がおすすめ

パソコンは今や、大学生の必需品といわれる。実際はどのように選び、使っているのだろうか。そろそろ進学先が決まる時期。入学準備が本格化するのを前に学生スタッフに聞いてみた。

(諏訪 慧)

大学生のパソコン選び

「軽」「薄」「持久力」で判断

学生スタッフに聞いた パソコン購入のポイント

- ✓選ぶ基準は、軽さ、薄さ、バッテリーの持ちの良さ
- ✓USBポートは複数あると便利
- ✓購入価格は10万円前後が多数
- ✓購入先は家電量販店が多いが、大学生協はサポートが手厚い
- ✓「ワード」などは大学で無料ダウンロードできる場合がある
- ✓必修で使わなければ、大学生活が始まってから購入しても遅くない



パソコンを使う場面として目立ったのは、レポート作成と授業資料の閲覧だ。多くの大学は休講や試験の情報などが見られる学生専用のインターネットサイトを開設。授業によっては資料を掲載したり、レポートの提出に活用したりしている。個人でログインして履修した科目の成績をみられるところもある。

入学時は購入を見合わせていたという静岡文化芸術大学三年の中野七海さんは、二月月後に入手。「大学の共用パソコンは昼しか使えず、やっぱり不便。授業の資料を自分で印刷して持ってくるよう求められることもあるので」と話す。

誰もがスマートフォンを持

は、今は当たり前だという。購入先は、大学生協よりも安く買える家電量販店が多数。ただ、故障時の修理などのサポートが手厚い大学生協は「授業に必要なパソコンの設定をしてくれたのが助かった(愛知教育大一年の池内友音さん)などのメリットも購入先によるサービスの違いも考慮するよさそうだ。

「ワード」「エクセル」「パワーポイント」のソフトがインストールされているパソコンを選ぶ学生が多いが、在学生ならホームページから無料でダウンロードできる大学もある。これらのソフトが



愛知教育大一年の池内さんは、卒業したサポートが生協で購入する利点と話す。名古屋市内で

機能見極め費用を節約

入っていないパソコンを選んだ価格を抑えた中部大二年の古川穂高さんは「入学前の説明会で無料でダウンロードできると知った。購入は説明会後がおすすめ」と言う。

大学やカフェ、自宅など持ち歩いて使うことが多い大学生。決め手は「軽さ」と「薄さ」。そして「バッテリーの持続時間」に集中した。同時にスマホとつながり、外部メモリと接続したりするのに「USBポートがたくさんあると便利」との声もあった。ただ「タッチパネルで軽量」と高い機能求めていくと価格も上がる。入学前に二十万円以上のハイスペックのパソコンを買った学生もいたが、十万円前後のものを買う人が多かった。

ほとんどが授業開始までに購入していたが、家族共用のパソコンで支障がないという学生も。必修の授業で必要な場合を別にすれば、大学生活が始まってから見極めるのも一つの選択肢となりそう。

教科書でもかさむ出費

専門性が高いため流通量が少なく、高価なものもある大学の教科書。学生スタッフに聞くと、購入する必要性を見極め、うまく出費を抑える人が目立った。

「買ってほとんど使わず、腹が立つこともある」という声がある一方、「使わなくても試験前に役立つので買った方がいい」と話す学生も。

「授業での使用頻度をサークルの先輩に聞き、あまり使わないなら借りたり、もらったりし、書き込むことが多い授業なら購入する」。使い分けを勧めるのは名古屋市内の私立大に通う女子学生。別の女子学生は「必修授業の教科書は買い、他はフリマアプリで古本を買えば十分」と話す。

学ぶ